



# 全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066  
東京都新宿区市谷台町 14-5 MS ビル市ヶ谷台 1 F  
編集：全難聴事務局  
電話：03(3225)5600  
FAX：03(3354)0046  
URL：<http://www.zennancho.or.jp>  
E-Mail：zennacho@zennancho.or.jp

## 👉 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律成立(6月19日)

(日本障害フォーラム加盟の全難聴を含む構成団体は以下の共同声明を発表しました)

本日6月19日(水)「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(差別解消法)が参議院本会議で可決成立した。

私たち日本の障害者団体はこの20年以上、差別禁止法制の確立を求めてきた。日本障害フォーラム(JDF)も発足当初からその実現に向けて力を傾け、特に障害者権利条約の採択以降は、批准に欠かせない要件の一つとして取り組みを進めてきた。非常に感慨深い。

多くの障害当事者、関係者、市民そして国会議員の皆様から感謝を申し上げたい。

日本の障害者はこれまで多くの場面で、分け隔てられてきた。住まい、就労、教育、社会参加をはじめとする様々な分野においてである。悲しい経験をしなかった障害者は恐らくいない。そうした悲しい経験を少しでも減らすために、この法律に期待してきた。

この差別解消法は一方で多くの課題を残している。差別の定義がなされなかったことや、合理的配慮の提供について、国や地方自治体は法的義務としているが、民間については努力義務とされていることなど。また、紛争解決の仕組みについても、新たな組織を設けず、既存のもの活用をうたうにとどまっている。

しかし、これらは、3年後の法の施行、そしてその3年後の見直しに向け、基本方針やガイドライン作成への当事者としての意見提起などを含む、私たちの運動によって必ず解決できるものと固く信じる。

法の成立の今日が私たちの運動の再スタートの日である。

そして、障害者権利条約への批准を果たしていくことによって、私たちJDFは、世界の仲間と共に、権利の実現とインクルーシブ社会の構築に向けて、手を取り合いながら、前に進んでいく決意をここに新たにします。

日本障害フォーラム 代表 嵐谷 安雄

## 👉 平成25年度第1回全難聴理事会、総会開催(6月1日、2日)

一般社団法人化後、初の理事会と総会が開催されました。

6月1日(土)に理事、監事が招集され理事会を開催。翌2日(日)に加盟協会代表者による総会を開催しました。

総会では24年度の事業報告並びに、4つの議案に加え、多くの確認事項が報告され、了承されました。

事前に提出されていた質問事項については、ひとつひとつ担当理事より詳しい回答及び、説明がなされ、今後の全難聴の活動方針に寄与する建設的な議論がなされました。

## 📍 JAPAN 補聴器フォーラム2013出展 (6月15、16日)



JAPAN 補聴器フォーラム2013が6月15日～16日に東京秋葉原のUDX アキバ・スクエアにて開催されました。



一般社団法人日本補聴器販売店協会が主催し一般社団法人日本補聴器工業会、公益財団法人テクノエイド協会やNPO認定補聴器技能者協会、厚生労働省そして全難聴が後援をしました。

日本補聴器販売店協会が発足して25周年を記念して日本で初めての補聴器の展示会も兼ね、補聴器業界に限らず、一般へのフォーラム参加を呼びかけての開催でした。

全難聴は販売店協会から特にブースをいただき、耳マークグッズのアピールや磁気ループの体験および説明を来場者に行いました。

補聴器や人工内耳装用の当事者や補聴器業界関係者にPRをする目的で懇親会のパーティ席上で瀬谷部長が「きこえの健康支援センター構想」の説明をし、好評を得ました。

総会での来賓祝辞を述べた佐野副部長、小川常務理事が中心となって部員の方々にも応援をいただきました。



磁気誘導ループとFM補聴システムの視聴、耳マークグッズや書籍の展示、2000枚のチラシとポケットティッシュをセットにして来場者に配布をしました。



盲ろう者協会の庵さんもお見えになり、(株)ソナール佐野社長とともに磁気ループのチェックを行いました。

全難聴ブースには多くの中途失聴・難聴者に立ち寄っていただきました。高岡理事長はじめ、高木理事、荒川理事、齋藤監事の参加もありました。

ブース内では耳マーク活用事例のスライドの他にJDF制作の「命のことづて」DVDの上映等も行いました。

その一方で一般の方も対象にした今回のイベントは来場された中途失聴・難聴者の方々にとっては満足できる接遇はできなかった印象もあります。今後の対応を検討していくようにしたいと思います。

補聴器販売店協会によりますとフォーラム2日間の来場者数は2600名とのことでした。

## ■ 第61回全国ろうあ者大会開催（6月16日）

秋田県協会の照井理事が、理事長代行として臨席しました。以下報告です。

先日、6月に山形で開催された全国ろうあ者大会の来賓出席の件、無事に終わりました。初めて同大会に参加したので参加人数の多さに圧倒されて徐々に緊張しました。

さすが歴史と伝統のある全日本ろうあ連盟という感じがいたしました。

また、私と同じ秋田県出身の同連盟事務局長を務めている、久松三二さんと1年ぶりの再会や学生時代に知り合った手話サークル関係者の思い出話に花を咲かせる等、貴重な経験をさせて頂いて良かったです。

久々に訪れた山形は盆地に囲まれて本当に良い所でした。

（照井理事）

## 📌 第31回全国要約筆記問題研究集会 in くるめ(6月22日、23日)

事務局長 佐野 昇

全要研集会が22日、23日と2日間にわたり、福岡県久留米市市民会館と市役所を会場に開催され全国から400名にのぼる参加がありました。

高岡理事長が開会式あいさつと懇親会の乾杯の発声をしました。

基調講演は内閣府障害者制度改革担当室長 東俊裕 氏から国連障害者権利条約が採択されてからの、これまでの取り組みや障害者権利条約の国会での採択の見通しについて話がありました。

第1分科会は高岡理事長が報告、藤谷要約筆記部長が養成事業の課題のテーマでのパネリスト、第3分科会では「聴覚障害者の花まるスポット」と「花まるアイデア」の審査委員長を事務局長佐野が担当し好評の内に終了いたしました。

後日、報告集が刊行されますので、参加の方々には配布されることになっています。



懇親会では宮本せつ子理事が独特のパフォーマンスで司会を担当されました。荒川理事にも参加いただきました。

加盟協会では地元福岡県から(特)福岡中失難聴者支援協会梅田理事長、(特)北九州市協会神矢副理事長、山口県協会名和田事務局長、(特)兵庫県協会中嶋理事長、滋賀県協会宿谷事務局員、(特)東京都協会高岡事務局長、北海道協会佐々木会長など、全国から協会役員の方々がありました。そのほか、記名の無い方がいらっしゃいましたら、お詫びします。

特に今回の全要研集会には加盟協会の若手役員の参加が多いように感じました。参加いただいた皆さんにはお疲れ様でした。

次回は石川県白山市で2014年6月21日・22日の両日開催されます。白山市は金沢市のお隣の市です。

## 👉 理事の動き (6/1~6/30)

- 6月1日 全難聴理事会 (14名、監事2名)
- 6月1日 「耳ガイド」作成委員会 (佐野、小川、川場、高木、宮本、湯浅、永末)
- 6月2日 全難聴総会
- 6月3日 共用品機構第3回理事会 (小川)
- 6月4日 日弁連院内集会 (高岡)
- 6月4日 JDF 民主党懇談会 (新谷)
- 6月7日 シターアクセシビリティネットワークとの懇談 (小川)
- 6月15、16日 JAPAN 補聴器フォーラム (瀬谷、佐野、小川)
- 6月15日 補聴器販売店協会総会 (瀬谷、佐野)
- 6月15日 [ACITA] 創立25周年記念大会 (高岡)
- 6月15日 青年部設立30周年 (高岡)
- 6月16日 第61回全国ろうあ者大会 (照井)
- 6月19日 JDF 代表者会議 (高岡)
- 6月20日 第16回情報通信アクセス協議会 (小川)
- 6月22、23日 第31回全要研集会 (高岡、佐野、藤谷、宮本、荒川)
- 6月24日 JDF 国際委員会 (新谷)
- 6月25日 JDF 幹事会 (新谷)
- 6月27日 全聴情協総会 (高岡)
- 6月28日 警察庁運転免許課面談 (佐野)
- 6月28日 情文指導者講習会東会場
- 6月28日 全難聴便り No. 61 発行

## 👉 事務局報告

- 6月1日 全難聴理事会事務
- 6月1日 「耳ガイド」作成委員会
- 6月2日 全難聴総会事務
- 6月15、16日 JAPAN 補聴器フォーラム
- 6月19日 総会議事録発送
- 6月24日 「音から隔てられて」全難聴分完売
- 6月27日 機関誌搬入
- 6月28日 機関誌発送
- 《予定》
- 7月3日 視聴覚関連4団体勉強会
- 7月5日 事務局会議
- 7月16日 JDF 幹事会

## 全難聴ロゴマーク募集!!!

全難聴をより効果的にPRし、かつ全難聴に親しみを感じてもらうためのシンボルとなるロゴマークの原案を募集します。

会員の方のみならず、広く一般に公募します。最優秀作品に対しては福祉大会 in おきなわにて表彰を行います。詳しい内容、賞金等についてはHP及び次号の便りで発表します。

## 福祉大会 in おきなわ情報(2014/1/25~27)

### ●分科会

「就労について」と「情報保障の目指すもの」の概要は企画作成中です。

「沖縄の歴史とおばあに学ぶ長生きの秘訣」70代の2人のおばあ(沖縄出身と県外出身の方を調整中)をお招きする予定です。沖縄の踊りや音楽、長生きの秘訣そして沖縄の歴史にもふれ、ユーモアと表情豊かな笑顔あふれる2人のおばあの魅力に出会えます。

### ●記念講演

県内で活躍され、障害者問題、聴覚障害者問題に詳しい岡島実弁護士を講師として登壇していただく予定です。テーマは「権利ってなんだろう?」として、分かりやすく楽しいお話をいただきます。

### ●沖縄大会の特徴

今回の沖縄大会は、これまでの大会と趣向を変えています。沖縄大会を小規模のエコ大会とし、今大会をモデルにして、今まで引き受けを躊躇しがちな小規模協会でもできることをアピールします。また、分科会のあり方も各専門部を融合した形で行います。全体的なテーマは地域生活に特化したもの、難聴者の自立のためのもので、沖縄らしい分科会です。

記念講演会は一般公開することとし、全国大会では初の試みです。実行委員会一同、満席にするために力を注いで邁進していきます。

by 勝連